

# 「学びと労働」の狭間で

——奄美にも日本語学校生——

橋 内 武

「一番怖かったのは、新人のトゥアンくんだった。彼は店をどんどん吸収していて、店の皆に似てきていた。」  
——村田沙耶香『コンビニ人間』

1. 問題提起—なぜ離島に日本語学校か
2. 事例報告—奄美にも日本語学校
3. 法制としての日本語学校と留学生
4. 結論—入管法への問題提起と筆者による提言

## 1. 問題提起—なぜ離島に日本語学校か

### 1.1 奄美・佐渡・五島・石垣に日本語学校

2015年10月、鹿児島県奄美大島の名瀬に日本語学校が開設された（西日本新聞編 2017, 朝日新聞 2018年11月25日付）。その後、新潟県の佐渡にも日本語学校ができた。2020年4月には、長崎県五島列島の福江島にも日本語学校が創設される。さらには、沖縄県八重山諸島の石垣島にも日本語学校設置の動きがある。奄美だけでなく、佐渡や五島、そして石垣も日本の離島である。なぜ離島に日本語学校か。人口減少地域になぜ日本語学校が開設されるのだろうか。

### 1.2 奄美の日本語学校

その問いを解く鍵は何か。この点を追究するために、筆者は2018年の暮以来四度奄美に飛び、その離島の日本語学校からエスノグラフィックな事例報告を行うことにした。当該校の、①設立の目的、②校舎・設備と日本語学校生の在留目的、③日本語の教育と学習、④留学生のスピーチ、⑤課外学習一年中行事と異文化体験、⑥進路指導—主に専門学校進学、⑦事務室と留学生のアルバイト、⑧奄美のグローバル化、の順で進める。その結果、日本語学校急増の背景には、主に外国人留学生に許された「資格外活動」としてのアルバイトがある、ということに読者は気づくことだろう。来日する留学生によって労働力を確保するということは、いかにも歪んだ雇用政策であるが、すでにその政策転換が始まっている。つまり、留学生30万人計画から特定技能1号、2号を含む外国人人材活用政策への転換である。

### 1.3 法制としての日本語学校と留学生

次に、法制としての日本語学校と留学生についても考察を進める。つまり、①出入国管理及び難民認定法（以下、入管法）における在留資格、②日本語学校生の在留資格、③「日本語学校」という教育機関、④日本語学校の急増、⑤「資格外活動」としてのアルバイト、である。特に明らかにしたいことは、日本語学校生の在留資格「留学」と「資格外活動」とが二律背反の関係にあるということである。外国人の日本での在留を直接に規制する入管法はこのような矛盾を放置してきたため、日本語学校の多くは今や不法就労の温床になっているのではないかということが、筆者の疑念である。一体全体、「急増する日本語学校生は、留学生か外国人労働者か」である。2019年4月1日に出入国管理在留庁（以下、入管庁、佐々木聖子長官）が発足したのに伴い、留学生に「日本語学校はむちゃくちゃ」と評されないよう、その質的向上を切に願うものである。そのためには、2019年6月に成立した日本語教育推進法によって、国による日本語学校振興策が講じられることが期待される<sup>1)</sup>。（写真①名瀬）



①三方山に囲まれた港町一名瀬（2018年2月）

## 2. 事例報告—奄美にも日本語学校

### 2.1 設立の目的—人口減少地域の活性化

まずは、2015年10月、奄美市の名瀬に開設されたカケハシインターナショナルスクール奄美校（中川智尚校長）を事例として報告する<sup>2)</sup>。（次頁の写真② KIS 校舎を参照）学校名に

1) 「日本語学校」（法令上は日本語教育機関と称する）に関連して、日本語教育推進法第21条2は、「国は、外国人留学生等（大学及び大学院に在学する者を除く。）であって日本語能力を必要とする職業に就くこと又は我が国において進学することを希望するものに対して就業又は進学に必要な日本語を習得させるための日本語教育の充実を図るために必要な施策を講ずるものとする。」としている。

2) 所在地 〒894-0006 鹿児島県奄美市名瀬小浜町4-28 AISビル2F 御殿浜公園内に建つ。なお、日本語教育機関の告示基準によれば、「校長は日本語教育機関の運営に必要な見識を有し、かつ、教育に関する業務に原則として5年以上従事した者であること」ということになっている。



②カケハシインターナショナルスクール  
奄美校と女子寮（AIS ビル内）



地図1 奄美大島（成美堂出版編集部 2019：235）

「インターナショナルスクール」が付くが、多国籍の児童生徒が通う国際学校ではなく、外国人留学生を受け入れる法務省告示日本語教育機関である。奄美市の有限会社ザイケイロード（浜崎幸生代表取締役社長）が東京の人材コンサル会社（株）カケハシスカイソリューションズの支援を得て設立した。奄美群島の主島である奄美大島は、沖縄本島、佐渡に次いで大

きな島ではあるものの、人口漸減傾向の中で「高校を卒業すると、ほとんど本土に出る。若者はほとんどいない」という。奄美大島の概要は、次の囲み記事の通りである。

奄美大島は九州から南に380kmのところにある、奄美群島の主島である。その面積は712.38km<sup>2</sup>。最高標高694mの湯湾岳。山勝ちで平地が少ない。奄美群島の総人口は2019年11月1日現在約10万6千人。行政上奄美大島は奄美市・龍郷町・瀬戸内町・大和村・宇検村の一市二町二村からなる。奄美市は約4万3千人、名瀬地区に約3万7千人が暮らす。名瀬は港湾都市であるが、三方山々に囲まれているため、奄美空港は笠利半島東岸に造られた。奄美振興法の恩恵を受けて、1970年代以降、トンネル建設が次々に進み、道路事情は大幅に改善された。亜熱帯にある隆起珊瑚礁の緑濃い島、世界自然遺産登録候補。

奄美の歴史は、本土とは異なり、先史時代・大和朝廷時代・琉球王朝時代・薩摩藩治下時代・鹿児島県時代・米軍政府治下時代・1953年12月25日復帰後の現代という時代区分になる。2019年現在、第一次産業は農業（サトウキビ）と漁業（カツオとマグロ）、第二次産業は大島紬と黒糖・黒糖焼酎の製造、第三次産業は観光と情報。名瀬地区と瀬戸内町にミサイル基地の建設が進み、自衛隊の駐屯が始まったところである。

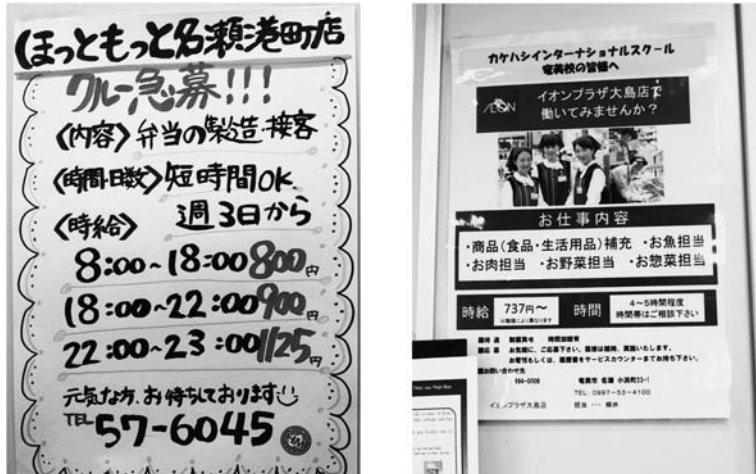
伝統的奄美方言は、琉球諸語の変種（奄美語）。市町村・集落毎に多少異なる。挨拶ことばは、ウガミンショウラン。「召し上がれ」はミショレ、「ありがとうございました」は、アリガティサマリョウタ。キやヲの音が残存している。例えば、キングは男、ヲウトウは夫。母音はア・イ・ウの三母音を頻用。だが、高齢者以外はもはやシマグチが話せず、UNESCOの「消滅の危機に瀕する言語」に指定されている。共通語とシマグチが混交して一時期「トン普通語」が使われた。2月18日が方言の日、10月にシマグチ大会を開催。

理事長の浜崎幸生は税理士で、元奄美商工会議所会頭という経歴をもつが、「留学生で人口減少を補い、雇用や活性化の面で地域に貢献することは使命だと思っています」と語っている（朝日新聞 2018年11月25日付）。この言説が意味することは、留学生を地域の人手不足解消に役立てようとする発想であり、日本語学校は半ば人材供給源であるということである。それゆえ、アルバイトは極めて重要である。（次頁の写真③校内求人広告を参照。）

奄美新聞（2019年4月27日付）によれば、「外国人留学生の就労支援と地域活性化などを目指す『奄美海外交流人材育成協議会』（指宿良治会長）」が発足し、「留学生を安定的に島へ呼び込むための広報活動、留学生と地元住民の交流促進、留学生を対象とした奨学金創設、卒業後の雇用創出による島内就労の定着化を目指すことを確認した。」

名瀬における日本語学校の創設は、インド・ネパール料理店開業、大型クルーズ船寄港、多言語通訳サービス、急速な情報化の進展と同様、奄美大島のグローバル化を物語る。

なお、2017年4月には、新潟県の佐渡にも日本語学校が開校した。佐渡国際教育学院と称し、学校法人・新潟国際芸術学院が開設したものである。人口不足の解消を狙って、人口減少が続く五島市福江島にも、2020年4月に五島日本語学校（仮称）が開設される予定である。



③求人広告2件（弁当屋とスーパー）の掲示  
(2018年12月、カケハシインターナショナルスクール内)

この場合、(廃校になった)校舎提供と留学生へのアルバイト支援は五島市が行い、「日本語」の授業は学校法人・九州総合学院(長崎県)が行う、言わば半官半民の事業体である。してみると、奄美の日本語学校は、有限会社法人という点で他の2校とは異なる。

## 2.2 日本語学校の校舎と設備

筆者は2018年暮れに奄美に飛び、奄美市名瀬の日本語学校を訪ねて現状を視察した。星野良太事務主任の案内で校舎・設備・寮を見学した上で、聞き取りをした。理事長が保有する8階建てのAISビル2階に事務室・教員室・2教室(各16名収容可)・トイレ、4階に図書室(書架3・白板1・長机と椅子セット3・映像機器)・保健室(ベッド1)がある。留学生寮としては、教室のあるAISビルに女子寮、近くの別棟に男子寮があり、机付き寝室、トイレ、シャワー、洗濯機、ダイニング・キッチンが完備、自炊可である。(次頁写真④)至近距離に大手スーパーのイオンプラザがあり、食料品や生活用品が求め易い。

なお、当校は一般社団法人全国日本語学校連合会(JaISA)の加盟校である。

## 2.3 留学生の在留目的—学びとアルバイト

2019年4月に再度この学校を訪問。23日には、KL先生の漢字学習クラス(偏と旁による書字練習)を見学した(写真⑤)。次いで、東京での教育経験が豊かな山崎会理教務主任と面談、2年間のカリキュラム・教材・日本語能力試験対策・留学生の修了スピーチなどについて詳しく伺った。その晩は、星野良太事務主任・KL先生・SC先生と夕食をともにしながら、歓談。「アルバイトをしない留学生は、ここでは考えられない」とのことであった。

4月25日には鹿児島県議会議員向井敏夫らを来賓に迎えて入学式が挙行政され、新たにベトナム人7名・ネパール人1名・モンゴル人1名の留学生計9名の入学が許可された(写真⑥)。





④男子寮の外観（上）とダイニング・キッチン（下2葉）



⑤授業風景——漢字学習クラス

浜崎理事長は留学生一人ひとりに「〇〇〇〇殿」と呼んで、入学許可証を渡した。入学時の日本語能力はN5（かなの読み書きと挨拶程度）が大半であるが、中には、マイクに向かって「新入生代表 挨拶」をしたモンゴル出身の女子学生ガンフヤグ・トゥシンザヤさんのように、N4（日常の基本的会話ができる程度）の実力を有する者もある（次頁の写真⑦）<sup>3)</sup>。25日の午後には浜崎理事長と面談をし、設立の経緯や今後の課題について尋ねた。まず、設立に当たっては、設置者の社会的地位（税理士、元奄美商工会議所会頭）・財務力（資金・不

3) モンゴル語は3つの点で日本語に似ているので、モンゴル人にとって日本語は比較的習得し易い言語である。つまり、①文法構造（特に語順 SOV と語構造、疑問文と否定文の作り方）が類似、②母音調和が存在する、③両言語とも r で始まる固有の単語がない、因みに日本語の r で始まる語は漢語か外来語、である。山越（2012:42）参照。



⑥入学式記念撮影の前に（2019年4月25日）



⑦入学式新入生挨拶（2019年4月25日）

動産）・教歴（税理士会研修会の講師・様々な業界セミナーの講師）が問われたという。また、留学生の多くは「教育と雇用」を期待して日本語学校に留学しているので、学校独自の奨学金授与に加えて、地域企業の応援による奨学金制度を今後立ち上げ、アルバイトの開拓と紹介をしなければならないという。留学生募集については、これまで東京の代理業者に任せてきたが、本校独自の募集対策を立てることが直近の課題であるという。「浜崎さんは、留学生が幅広い職種に就けるよう、ビジネススクールの併設も計画している」（西日本新聞

編 2017:22)とも報じられているが、すぐには実現しそうにない。翌26日には、元地方公務員の恵龍一学生生活管理担当と面談し、留学生の生活事情を伺った。なお、8月初めに三度目の訪問。『中級へ行こう』を使ったKR先生による「～ほど～でない」の文型を学ぶ授業を見学。併せて慣用句「喉から手が出るほど」も学習していた。これには山崎教務主任も同席した。

## 2.3 日本語の教育と学習

### 2.3.1 定員を下回る在籍者—ベトナム出身者が多い

当校は小規模校であり、学生定員は80名である。第1期生(2015年10月入学)は14名、第2期生(2016年4月入学)は7名、以下第3期生は3名、第4期生は10名、第5期生は6名であった。その後、第6期生(2018年4月入学)10名、第7期生(2018年10月入学)15名、第8期生(2019年4月入学)9名が入学した。18歳から30代までの青年であり、男女比は平均2対1である。2019年4月現在、在籍者30名である。学費は国内最低額にも拘わらず、海外での知名度の低さゆえ、留学生募集には苦勞しているという。出身国はベトナムが多数を占め、ついでネパールが目立ち、年度によってはインドネシア、カンボジア、フィリピン、モンゴルからの留学生が加わる<sup>4)</sup>。

### 2.3.2 カリキュラム(進学2年コース)と教材

カケハシインターナショナルスクール奄美校のカリキュラム(進学2年コース)は次頁表1の通り、1年目は4月に入学、2年後の3月に修了する24か月の課程である。2年目からは日本語能力試験(JLPT)N3またはN2の受験対策を念頭に置いて、さまざまな教材が使われる<sup>5)</sup>。

学期は4学期制を採り、4月入学は2年課程、10月入学は1年半課程で、いずれも3月に卒業する。初級・初中級・中級というふうに段階的に学習を進める。2年課程修了までの総時間数は、年間1520時間である。初級は1年次4月から12月までに終える。

主教材は『みんなの日本語』第2版(スリーエー)。本冊(CD付)と英語やベトナム語などの『翻訳・文法解説』もある。初級ⅠとⅡの本冊は、1)日本語の発音、2)教室のこ

4) 近年ベトナムからは、多くの技能実習生と留学生(特に日本語学校生と専門学校生)が多数来日している。ベトナム語はクメール系の言語にタイ系の言語が重なって形成されたという。千年にわたって漢字文化圏の影響を受けてきたため、語彙の7割は漢語起源である。だが現在、ベトナム語はローマ字+発音区別符合で表記されている。また、日本語とは異なり、語順はSVO、動詞に活用がなく、修飾構造は被修飾+修飾である。一方、この言語は日本語に似て、名詞分類詞(助数詞)がある。なお、ベトナム語は単音節言語で且つ音調言語、基本的な音節構造はCVCである。因みに、ネパール人の多くも日本語学校の留学生として来日。民族語(例えば、ネワール語)、国語(ネパール語)、英語の三言語が使える。ネパール語は印欧語インドアーリア語派に属す。

5) 日本語教育機関の告示基準によれば、「修業期間1年当たりの授業期間が、定期試験等の期間を含め、35週間にわたること」、「修業期間1年当たりの授業時間が760単位時間以上であること」とあり、当校はこの基準を上回る課程を編成。



表1 カケハシインターナショナルスクール奄美校カリキュラム（進学2年コース）

学習時期	カケハシインターナショナルスクール奄美校 カリキュラム 進学2年コース 1年次											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日程	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目	7か月目	8か月目	9か月目	10か月目	11か月目	12か月目
レベル	初級Ⅰ			初級Ⅱ			初級Ⅱ			初級Ⅱ		
主教材	『みんなの日本語 初級Ⅰ』			『みんなの日本語Ⅱ』			『みんなの日本語Ⅱ』			『中級へ行こう』		
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『まると入門 りかい・かつどう』</li> <li>・『できる日本語 初級』</li> <li>・『標準問題集』</li> <li>・『文型練習帳』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・『まると初級 りかい・かつどう』</li> <li>・『できる日本語 初級』</li> <li>・『標準問題集』</li> <li>・『文型練習帳』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・『まると 初級 りかい・かつどう』</li> <li>・『できる日本語 初級』</li> <li>・『標準問題集』</li> <li>・『文型練習帳』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・『まると 初級 りかい・かつどう』</li> <li>・『できる日本語 初級』</li> <li>・『新毎日の聞き取り』(上)</li> <li>・『どんなときどう使う日本語表現文型 初・中級』</li> </ul>		
漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『漢字たまたご 初級』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・『漢字たまたご 初級』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・『漢字たまたご 初級』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・『総まとめ漢字 N3』</li> <li>・『新毎日の書き取り』(上)</li> </ul>		
JLPT	N5 対策			N4 対策			N4 対策			N3 対策		
目標	日本語能力試験 N5 合格程度			日本語能力試験 N4 合格程度			日本語能力試験 N4 合格程度			日本語能力試験 N4 合格程度		

学習時期	カケハシインターナショナルスクール奄美校 カリキュラム 進学2年コース 2年次											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日程	13か月目	14か月目	15か月目	16か月目	17か月目	18か月目	19か月目	20か月目	21か月目	22か月目	23か月目	24か月目
レベル	中級Ⅰ			中級Ⅰ			中級Ⅰ			中級Ⅱ		
主教材	『中級を学ぼう 中級前期』			『中級を学ぼう 中級前期』			『中級を学ぼう 中級前期』			『中級を学ぼう 中級前期』		
JLPT	N3 対策 ・『単語1800』 ・『読むトレーニング基礎編』 ・『総まとめ漢字・語彙 N3』 ・『新完全マスター文法 N3』			N2 対策 ・『単語1500』 ・『総まとめ文法 N2』 ・『新完全マスター読解 N2』			N2 対策 ・『単語1500』 ・『総まとめ文法 N2』 ・『新完全マスター読解 N2』			《行事》スピーチ大会（2月下旬）		
目標	日本語能力試験 N3 合格程度 日本留学試験200点以上			日本語能力試験 N3 合格程度 日本留学試験200点以上			日本語能力試験 N2 合格程度 日本留学試験220点以上			日本語能力試験 N2 合格程度 日本留学試験220点以上		

とば、毎日のあいさつと会話表現、数字、3) 本課①文型、②例文、③会話、④練習、⑤問題、⑥復習、⑦副詞・接続詞・会話表現のまとめ、4) 動詞のフォーム、5) 学習項目一覧、6) 索引、7) 附属 CD からなる。次の段階で『中級へ行こう』(スリーエー)を使用。

漢字学習には『漢字たまご』(凡人社)を使用。他に副教材『まるごと』『できる日本語』『標準問題集』『文法練習帳』を随時用いる。

### 2.3.3 教授法とテスト

教授法は、他の国内日本語学校と同様に直接法を採用している。山崎教務主任によれば、「全員が足並みをそろえて中級へ進級できるよう、初級の段階で授業についていけない学生がいましたら、随時補習を行い、取りこぼしが出ないようにしています」という。その他に留意する点としては、「全員が非漢字圏の出身ですので、漢字教育に力を注いでいます。さらに、奄美の文化も授業内で積極的に取り上げるようにしています。」とのことである。

テストに関しては、『みんなの日本語初級』の場合は小テストと期末テストを、『中級へ行こう』等、初中級以上の場合は各課テスト、小テスト、期末テストを行っている。

### 2.3.4 授業時間—45分授業×4単位時間

教授法は基本的に直接法ではあるが、入学当初は日越通訳をしたり、越日対訳式の授業が行われたりする。その点では、ベトナムでの教育経験のある KR 先生などが語学力を発揮するところである。ネパール人学生との間では、英語が通じ易い。

授業は午前の部と午後の部に分かれ、それぞれ9時から12時半までと13時から16時半まで(45分授業×4単位時間、休憩10分×3)である<sup>6)</sup>。教員が産休などの場合には午前の部に集約されるが、その場合、図書室が臨時教室として転用される。夏期講座の開催もあり得る。

### 2.3.5 教員構成—ジェンダー性

専任教員(教務)は2019年4月現在、4名(山崎会理先生、KL先生、KR先生、SC先生)であり、非常勤講師は一切雇っていない<sup>7)</sup>。男性1名・女性3名という教員構成は、日本語教育学会個人会員の男女比1対3に符合する(牲川編 2019:28f)。愛知県からUターンしたKL先生は奄美出身で、漢字指導に力を注いでいる。他の3先生はIターン就職である。千葉県出身の山崎教務主任は、設立当初から当校に勤務。豊かな教育経験を踏まえ、カリキュラム編成などに力量を発揮している<sup>8)</sup>。KR先生は大阪府出身で、ベトナム語もできるとい

6) 日本語教育機関の告示基準によれば、「授業はおおむね午前8時から午後6時までに行われること」としている。それゆえ、早朝又は夜間の授業は認めない。」

7) 日本語教育機関の告示基準によれば、「定員20名に付き1名の教員が専任教員であること」という。その点で、当校は告示基準に適合している。少数教育に徹している、とも言える。

8) 当校の山崎教務主任は「主任教員」でもある。日本語教育機関の告示基準によれば、「教育課程の編成及び他の教員の指導を行う教員を主任教員として定めていること」とあるからである。

うこともあり、留学生に慕われている。SC 先生は2019年度に着任した若くて元気な新任教員であるが、学生時代から「日本語」の教育実践を積んできたという。教員/学生 (TS) 比は1対8であり、極めて良心的な教育経営が行われていると言える。なお、全国的にはTS比1対20が一般的で、教員の大半は非常勤講師であろう。

### 2.3.6 主な教育目標—N3 合格と専門学校進学

この日本語学校の主な教育目標は、日本語能力試験 (JLPT) N3 (初中級) (日本語で簡単なスピーチができる程度) に合格し、専門学校へ進学することである<sup>9)</sup>。JLPT 受験のため、留学生は教員の引率で7月には東京 (泊)、12月には鹿児島へ出掛ける。東京では、交通事情の学習と専門学校の見学も行う。2019年3月修了生の場合、N2 (中級) 合格が1名、N3 合格が5名であり、N3 以上の合格率はほぼ5割である、N3 では漢字600字、語彙1800語の習得が目安である。非漢字圏出身者にとって N2 合格は、決して容易でないということが分かる<sup>10)</sup>。「働きながら学ぶ」ために来日した留学生には、「接客日本語」か「ビジネス日本語初歩」の手ほどきをするのも、一案かもしれない。

### 2.4 留学生の課程修了スピーチ

この辺りで、課程修了前の2019年2月下旬に留学生が披露したスピーチから、二例紹介しよう。PC 利用のプレゼンである。いずれの内容もアルバイト先の店主と関連する。

#### 2.4.1 袋を「おふくろ」と勘違い

まずは、「感謝」という題のデリー・ブルマナ君のスピーチから引用する。「けいはん ひさ倉」(久倉茂勝店主) で働いていた本人の微笑ましい失敗談に基づく<sup>11)</sup>。(写真⑧)



⑧日本語学校生の雇用先：けいはん「ひさ倉」と鶏飯

店長はお母さんと呼ぶとき「おふくろ」と言います。ある日、お客さんに「お兄さん」

9) 将来 CEFR に準じた教材・テストが一般化すれば、到達目標と試験対策も変わるだろう。

10) もし教育目標が大学進学ならば、JLPT の N1 (上級) 合格を目指さねばならないだろう。その場合、「アカデミック日本語」の基礎が学べるような配慮が必要になる。

11) 鶏飯 (けいはん) は、奄美大島北部のシマヌジュウリ (島料理)。ご飯の上に椎茸・海苔・鶏の身・錦糸卵に薬味を乗せ、鶏のスープをたっぷりかけて食べる、おもてなし料理である。

と呼ばれました。お客さんは「ふくろ、ください。」と言いました。私は「ふくろ」と聞いて、お母さんのことだと思って、すぐに店長のお母さんのところへ行行って、「お客さんが呼んでいます。」と伝えました。店長のお母さんはすぐにお客さんのところに行きましたが、また戻ってきて、「デリーさん、私じゃないよ。」と、にこにこしながら「ふくろよ。」と言いました。本当に恥ずかしかったです。

留学生アルバイトのデリー君が、「ふくろ」（袋）を「おふくろ」（お袋＝お母さん）と勘違いをした、という微笑ましい逸話である。

#### 2.4.2 つり好きは我慢強い

次に、「つり」という題で話したチャン・バン・タム君の「つり」というスピーチ。つりに1、2ヶ月に一度連れていってくれたのは、ファミリーマート名瀬港町店の店長だったという。

私はつりが好きです。(略) 魚をつるのには時間がかかります。4時間、5時間ぐらいです。4時間待ってもつれないことがあります。でもつれると気分がよくなります。(略) つりはとてもおもしろいです。つりをする人は我慢強くなります。でも我慢できない人はつりを5分ぐらいしても魚がつかないと、すぐさおを投げて帰ります。私は奄美に2年いる間につりや生活や奄美の文化やいろいろな生活やいろいろなことを教えてもらいました。本当にありがとうございました。

「つりをする人は我慢強くなります」という主張は、釣り好き青年の実感であろう。

#### 2.5 課外学習一年中行事と異文化体験と自然との関わり

課外学習（随意参加）には、年中行事（七夕、奄美まつり、正月儀礼「三献」）への参加、異文化体験（書道体験、茶道体験、大島紬の泥染め、あまみFMへの出演、高校生との交流）や自然との関わり（マングローブでのカヌー乗り、市内河川の清掃など）があり、奄美留学の忘れ得ぬ思い出となる。それぞれ多少解説を加えておこう。まずは、年中行事。シマ（集落）の民俗行事として（多くは旧暦で）伝承されてきた。

##### 2.5.1 七夕

奄美大島北部では旧暦の「七夕」（お盆の一週間前）には、赤飯を供えてお盆を準備する。先祖の霊を迎えるため、高く目立つように七夕飾りが作られる。当校の留学生たちは、揃いのTシャツを着て、家族への気持ちや将来への願い事を短冊に書き、笹竹に吊す。日本語学校では2019年8月2日に七夕交流会を開き、七夕の歌を斉唱。グループ毎にゲストへ質問

をし、それを参加者に披露した。これには筆者も招かれたが、記者の質問に対して当校は「少人数で授業の指導がきめ細かく、全国でもまれな学校」であると答えておいた。—南海日日新聞 2019年8月3日付。

### 2.5.2 奄美まつり

新暦8月初旬の4日間（2019年は1日～4日）に催される「奄美まつり」は、島内最大のイベント。初日の「シマあすびの夕べ」から始まり、花火大会、舟こぎ競争、八月踊り、「やちゃ坊相撲大会」に熱狂し、最終日にパレードが行われる。（写真⑨）



⑨七夕交流会（左上）と奄美まつり（左下は屋台の留学生販売員）

- ①「シマあすびの夕べ」は、唄者と児童によるシマウタの披露。於・奄美文化センター。
- ②「船漕ぎ競争」は、名瀬湾で繰り広げられるチーム対抗競争、ペーロン的一种である。
- ③「花火大会」には、3,000発の花火が空高く打上げられる。一方で御殿浜公園では、歌や踊りの公演があり、屋台で焼きそば、串焼き、枝豆やビール、焼酎などが売られる。
- ④「八月踊り」とは、本来旧暦の8月に豊作を祝って神々に感謝するシマをあげての年中行事。日没後、チジン（太鼓）の音によって、男女が交互に唄を掛け合いながら踊りまくり、次第にテンポを上げて最高潮に達する、夏の風物詩。かつては夜を徹して踊った。
- ⑤「やちゃ坊相撲大会」（会場・奄美市立名瀬中学校相撲場）—奄美の多くの集落には小高い土俵が築かれて、シマヌチュは相撲を楽しんできた。「やちゃぼやちゃぼしまぬ無ぬやちゃぼきもしゃげや山ぬそだち」と謡われた悪戯っ子「やちゃ坊」の名を冠した相撲大会



で優勝すると、全島的な人気者になる<sup>12)</sup>。

- ⑥「パレード」—最終日の夕方、第1部の楽隊・神輿等からパレードが始まり、第2部の踊り連・六調（独特の手踊り、口笛混じりで踊り回り、次第にテンポが速くなる民俗舞踊）で最高潮に達する。支庁通り・本町通り・屋仁川通りを結ぶコの字形目抜き通りが会場。シマヌチュはもとより、ヤマトウンチュも遠来の留学生も皆、興奮する4日間である。

### 2.5.3 三献

正月儀礼の「三献」（サンゴン）とは、正月元旦の儀礼である。泉（2015：8）によれば、「三献」は家長の「オショウロ」（さしあげましょう）の掛け声で始まる。①餅の吸い物、②刺身、③豚か鶏の吸い物と3回、膳を代え、各膳の間々に家族全員に焼酎の杯がまわり、高膳の昆布と干魚やスルメを盛り塩につけて授けるという献立構成で、儀式が終わる。日本語学校生は浜崎幸生理事長宅に招かれて、その家族・親族とともに新年の三献を祝う。

### 2.5.4 書道と茶道の体験

書道体験とは、特に墨書体験のことであり、毛筆に墨を含ませて字を書くことである。また、茶道体験とは、精神を整え、主人の用意した抹茶をいただくことである。これらは、日本の伝統文化を学習する絶好の機会になる。

### 2.5.5 泥染め

大島紬は奄美大島の伝統産業である。1970年代初めに生産が最高潮に達したが、今や昔日の面影はない。「泥染め」とは、糸を締め織りしたあと、泥田でシャリンバイ（テーチ木）の幹を煮出した汁で染める作業をいう。名瀬伊津部勝字城田にある本場奄美大島紬泥染公園で泥染めの見学と体験ができる。「日本のゴーギャン」と称される田中一村画伯は、泥染め工として働きつつ、奄美の自然を描いたという（田中一村記念美術館パンフレット参照）。

### 2.5.6 FM ラジオ出演

周波数77.7MHzのあまみエフエムは、奄美のFMラジオ局。パーソナリティは渡陽子。シマグチやシマウタを取り入れた番組制作が基調にあるが、出演する留学生には奄美での体験や出身国の話をしてもらう。

### 2.5.7 高校生との交流

鹿児島県立大島高校の生徒諸君に出会う貴重なひとときである。異文化交流に役立つ。

12) この野茶坊節（やちゃぼし）の歌詞は「野茶坊という奴は何と哀れな男よ、故郷もなければ家もなく山で一生を送る」の意である。

### 2.5.8 マングローブ体験

奄美市住用町には、年間3,000mm という多量な降雨が育む広大なマングローブ原生林（東京ドーム15個分）がある。マングローブの樹林（ヒルギ科・クマツヅラ科など）は、海水と淡水の混じり合う汽水域で育つ。満潮時にはカヌー（一人乗りか二人乗り）を漕いでマングローブの水路に分け入ることができる。留学生ならずとも、すばらしい水辺体験になる。

### 2.5.9 市内河川清掃

市街地を流れる永田川などの清掃は、「地球にやさしい」ボランティア活動であり、社会貢献になる。このような活動によっても、留学生は地域社会に受け入れられている。

### 2.5.10 結い

カケハシの日本語学校生は、上記のような多様な課外学習を満喫する。その上で、アルバイト先の店主としばしば家族か親子のような間柄になり、末永い「結い」（共助）の絆が作られる。このような関係性には、大都会では得られない親密さや温かさがある。

## 2.6 進路指導

### 2.6.1 専門学校への進学

進路希望は何よりも進学である。留学生の多くが本土（主に東京圏）の専門学校（自動車系・IT系・ビジネス系・観光系など）を狙う。中でも、岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校（神奈川県）、中央情報経理専門学校（群馬県）、横浜システム工学院専門学校（神奈川県）に奄美情報専門学校（鹿児島県）を加えた4校には、複数の年度にわたって当校から進学している。各進学先が所謂「ビザ専」（ビザを取得するための専門学校）になる<sup>13)</sup>。

### 2.6.2 大学・大学院への進学

少数ながら、大学（東京福祉大学、名古屋経済大学）・大学院（横浜国立大学大学院、亜細亜大学大学院）へ進む者もある<sup>14)</sup>。

大学院進学者は母国で既に大学学部卒である。2019年3月に卒業した第4期生のガンバット・サランチメグさん（モンゴル出身）は、入船町の居酒屋「喜多八」で働きながら、横浜国立大学大学院に進学することができた。研究生として在籍。専攻は経営学、研究テーマは「モンゴルにおける鉱物資源開発と環境会計について」である。女将曰く「彼女を家族以上に大切にしてきました。本当によく頑張ってくれて誇りに思う」と語っている（南海日日新

13) 是川（2019：171）の日本語学校縦断調査（PSIJ）によれば、「ベトナム、ネパール出身者が専門学校への進学をより強く希望する傾向が認められる」という。この点で当校の傾向と合致する。

14) 東京福祉大学の在籍者はほとんどが留学生であり、2016年以降所在不明者が続出。この大学の在籍管理に問題があると、文部科学省（以下、文科省）と出入国管理在留庁から指摘を受けている。「大学の在籍管理不適切なら留学生の在留資格停止」（朝日新聞 2019年6月12日付）参照。

聞, 2019年3月11日付)。彼女は当校の誉れであり, 将来が楽しみである。

### 2.6.3 当校のお薦めと進路の多様性

当校が特に薦めるのは, 留学生に木目の細かい指導をする観光系の NIPPON おもてなし専門学校(前橋市)と IT 系の奄美情報処理学校(奄美市)であるという。2019年3月に修了したダン・ティー・トゥエンさんは, 修了を目前にしたスピーチの中で「私は群馬県のおもてなし専門学校に進学します。そこで観光について勉強して, 将来はベトナムでホテルを作りたいです。夢に向かって頑張ります」と抱負を述べている。

星野良太事務主任によれば, 留学生は同郷の先輩がいる専門学校・大学を選ぶ傾向にあるという。稀に, 母国への帰国, 企業(例えば, スーパー, 工場)への就労, 日本人青年との結婚もあり得る。当日本語学校としては, 奄美市内の専門学校への進学と地元企業への就労が, 地域貢献であると考えている。なお, 学生生活管理上もっとも危惧するのは, 長期休業中の失踪であり, 事前に十全の対応策を講じているという。

## 2.7 事務室と留学生のアルバイト

### 2.7.1 事務職員の仕事

この学校の事務室は, AIS ビルの2階にある。訪問の度に面会した星野事務主任は, 人材コンサル会社(株)カケハシスカイソリューションズ奄美営業所長でもあり, 「島キャン」(大学生の島内就労体験事業)や代ゼミサテライン予備校(高校生対象)(写真②左下)の仕事も兼務している。事務室には, 他にアルバイト窓口(田中泰江)や学生生活管理担当(恵龍一)などがいて, 留学生相手の相談・指導に当たっている。福岡出入国管理在留局鹿児島出張所へのビザ申請手続きや地域社会(自治体と実業界)とのネットワークづくりも, 事務方の任務である。健康管理の上で留学生に問題が起されれば, 直ちに市内の病院に急送する。

### 2.7.2 アルバイトの業種

留学生が従事するアルバイトの業種は, 主に小売業(コンビニ・スーパー, 写真⑩)・外食業(レストラン・寿司店・居酒屋, 写真⑪)・宿泊業(ホテル, 写真⑫)・飲食料品製造業(弁当屋, 写真⑬)である。次頁と次々頁の写真参照。(このうち, 小売業を除く3つの業種は, 新設在留資格「特定技能1号」の業務対象であっても, 留学生の「資格外活動」と重なる。だが, 前者「特定技能1号」には「ある程度の知識と経験」が必要であり, 後者「資格外活動」としてのアルバイトは単純労働という前提がある。)

小売業(スーパー・コンビニ)での「資格外活動」は, 2019年4月に新設された「特定技能1号」の職種と重複しないため, 今後とも雇用主に重宝(convenient)がられることだろう。コンビニ(convenience store)で働く留学生アルバイトに関しては, 芹澤(2018a)の優れたドキュメント『コンビニ外国人』を参照。芹澤(2018b)の論文にも啓発される。



⑩コンビニやスーパーで働く日本語学校生

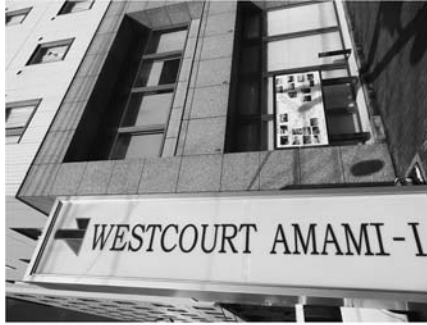


⑪レストランや居酒屋で働く日本語学校生

### 2.7.3 アルバイトの職種

職種は、スーパー・コンビニでは搬入・配架もしくは接客・販売，レストラン・寿司店・居酒屋などでは皿洗いを含む調理補助もしくは接客，ホテルでは清掃・ベッドメイキング，弁当屋では弁当の製造と接客である<sup>15)</sup>。入学当初の日本語力が乏しい時期にはバックヤード

15) 留学生が雇われている小売業者はイオンプラザ，グリーンストア，ファミリーマート，外食業者は和食処小町，けいはんひさ倉，回転寿司まんてん，てっちゃん，すし酒場・一，若大将，喜多八，宿泊業者はホテルウエストコート，食品製造販売業者（弁当屋）はHotto Mottoである。



⑫ホテルで働く日本語学校生



⑬弁当屋で働く日本語学校生

(裏方)の仕事をし、日本語のコミュニケーション能力が向上してくると、接客・対面販売が任されるようになる。地元の人間が日々見かけるのは、接客・販売担当の留学生である。これらの業種以外に、名瀬では「歯科医院での器具清浄」という独特なアルバイトも留学生に舞い込んできている。このように留学生アルバイトへの期待も様々である。

#### 2.7.4 言語による職業分類

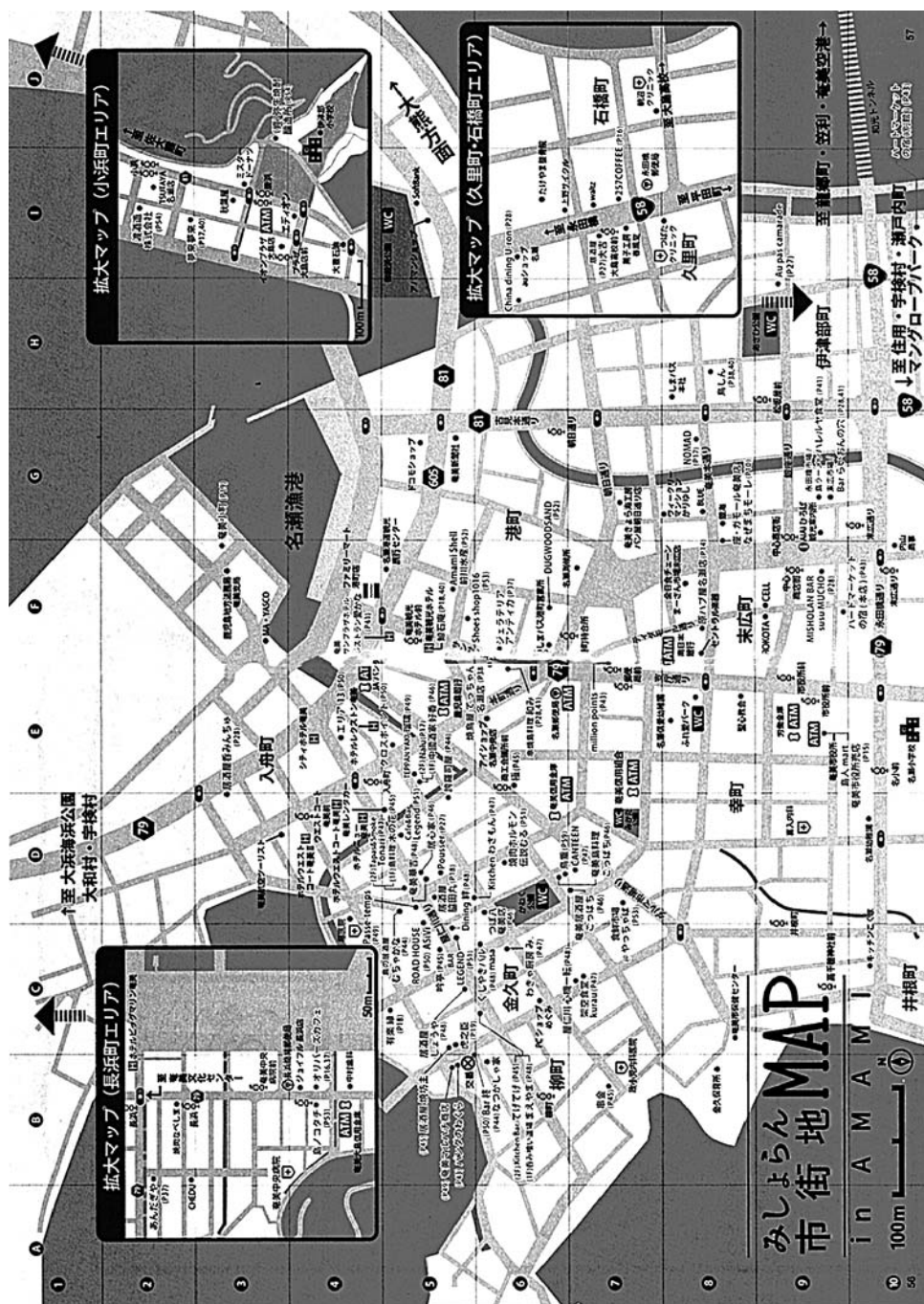
井上(2008:7)によれば、表2に示すとおり、母語も現地語もできれば「通訳者・翻訳者」になれる。現地語ができれば、ふつうの「会社員」である。現地語ができなくとも母語ができれば「語学教師」や「外資系役員」は勤まるが、母語も現地語もできないと「皿洗い」のような単純労働にしか就けないという分類にしている。だが、多少の日本語力があれば、アルバイトの職種が裏方から対面の販売・接客に広がることは、上に紹介した留学生の職種

表2 言語による職業分類 (井上 2008:7)

	母語を活かせる	母語を活かせない
現地語必要	1 通訳	3 会社員
現地語不要	2 語学教師 外資系役員	4 皿洗い 単純労働



地図2 奄美市名瀬地区中心部市街地（しーま 2019より転載）



例から窺い知ることができる。一口に「単純労働」と言っても多種多様である。

#### 2.7.5 名瀬市街地に主な雇用先

アルバイトの時間は一般に18時から22時までの4時間。この時間帯のアルバイトの求人募集をしても地元の間人は集まらないという。その空白を埋めるのが、留学生である。彼等は真面目によく働くため、各事業所から大いに喜ばれている。主なアルバイト先は市内中心の市街地（小浜町・入舟町・柳町・港町・金久町・長浜町）に分布している。特に繁華街の屋仁川通り（ヤンゴン）には、留学生を雇う居酒屋が建ち並ぶ。「みしょらん市街地 MAP」は、名瀬市街地飲食店案内図である。「みしょらん」は奄美語で召し上がれの意だが、かの有名なミシュランのもじりである。

なお、ファミレス「和食処 京町」のある朝日町は、名瀬東部の新興住宅地である。名瀬中心部からさらに離れた龍郷町屋入の鶏飯店「ひさ倉」も雇用先となる（2.4 参照）。

#### 2.7.6 アルバイトの功罪

日本語学校生のアルバイトには、その功罪とでも言うべき、長所と短所がある。

長所としては、①日本人との接触場面で日本語の言語変種を使う人々に出会い、実際の言語使用によって談話能力や社会言語能力が発達すること、②言語学習を通して社会化と文化適応が進むこと、③接客日本語や日本的商慣習を心得ること、の3点が挙げられる。

他方、その短所は、アルバイトのし過ぎで、①疲労が翌日・翌々日に持越され、②遅刻・欠席が目立ち、③宿題をせず、④授業中勉強に集中せず、スマホを見たり、私語をしたり、居眠りをしたりすること。要は、学業を怠け、学習成果が学校の期待する到達目標に達しないことであろう。やはり、留学生は「日本語」学習を優先し、アルバイトはその妨げにならないよう留学の実を取るべきである。

今後、就労が主目的で来日する場合には、日本語学校への2年間「留学」はせず、当初から「特定技能1号」のビザで入国、5年間在留することになる。その場合、母国で①日本語能力試験N4の実力を付け、②特定技能分野（例えば、外食業・飲食品製造業・宿泊業）について「ある程度の知識と経験」が試験で測られるので、それに合格する必要がある。

#### 2.8 奄美のグローバル化

今やグローバル化の波は奄美にも押し寄せてきている。その波とは、①日本語学校の開設と留学生アルバイト、②クルーズ客船寄港、③多言語通訳サービスなど、である。①は日常生活の次元で、②と③は国際観光の次元でグローバル化が進んでいることの証左である。その上、④情報のグローバル化が急速に進展している。

### 2.8.1 日本語学校開設と留学生アルバイト

2015年に日本語学校が名瀬に開設され、ベトナム・ネパールなどのアジア諸国から留学生20～30人ほどが熱心に日本語を学び、コンビニ・レストラン・ホテルなどでアルバイトをするようになった。名前と「日本語学習中」の胸バッジを付けた留学生アルバイトは、それ以前には考えられないことであった。アジア人留学生が日本語を介して販売したり、接客したりするということは、奄美が日常生活の次元でグローバル化してきたことの証しである。それは同時に、国際人口移動による教育と労働のグローバル化とも言えるだろう。なお、ネパール人家族によるインド・ネパール料理店（店主 Sapkota 写真⑭）の新規開業（2019年1月）は、入移民（immigrants）による経済活動であると捉えるべきである。



⑭インド・ネパール料理店：「ドゥルガダイニング」とその店主

### 2.8.2 クルーズ船寄港

近年、クルーズ客船がしばしば名瀬港観光客船埠頭に寄港するようになった。奄美市商工観光部袖観光課によれば、2019年4月から2020年3月までに大型客船が計25回寄港する予定。内訳は、7万7千トン級のサンプリンセスが8回、5万トン級のマースダムと飛鳥Ⅱが各1回、2万6千トン級のパシフィックが8回、2万2千トン級のにつぼん丸が5回、4千トン級のカレドニアスカイが2回である。表3 2019年度クルーズ客船寄港回数を参照。特に、バミューダ船籍サンプリンセス（定員2,200人）は、豪華ホテルが埠頭に忽然と現われた如く巨大で贅沢な造りである（次頁写真⑮2019年8月2日に筆者撮影）。

クルーズ客船は大抵7時～9時頃入港し、同日の16時～18時頃出港する。数千人に上る船客（そのほとんどが訪日外国人）は、名瀬市街散策の他、貸切バスに分乗して島内各地を終日観光し、奄美の物産を購入して船に戻る。市内各所には臨時にピクトグラム表示と多言語表示（日本語、英語、北京語—繁体字・簡体字、広東語、韓国語）がなされる。台湾からの船客には、繁体字のプラカード「歡迎光臨」で歓迎の意を表す。2018年度には、ガイドマップ「のんびり奄美」の多言語化、キャッシュレス決済説明会、まち歩き観光ガイドの育成が

図られた。多大な経済効果をもたらす大型客船の名瀬寄港は、奄美が今や国際観光地になったことを物語る。クルーズ船寄港は、九州の他港や沖縄の島々でも起きている。

表3 2019年度クルーズ客船  
寄港回数（計25回）

	クルーズ客船名	トン数	寄港回数
1	サンプリンセス	7万7千トン級	8
2	マースダム	5万トン級	1
3	飛鳥II	5万トン級	1
4	パシフィックビーナス	2万6千トン級	8
5	にっぽん丸	2万2千トン級	5
6	カレドニアスカイ	4千トン級	2



⑮クルーズ船「サンプリンセス」（台湾発豪華客船）の寄港

### 2.8.3 多言語通訳サービス

観光案内所・観光施設・交通施設やホテル・飲食店・商店が事前に登録しておくと、外国人観光客とのコミュニケーションに困ったときには、鹿児島県多言語コールセンターに電話をして通訳サービスを受けることができる。対応言語は15言語に及ぶ—英語、中国語、韓国語の他に、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ネパール語、タガログ語、マレー語である。印欧語7言語に加え、ベトナム語やネパール語などアジアの8言語を含む。24時間対応で、通訳料は無料。通話料は登録済みの利用者負担。



外国人観光客が目の前にいるときには2地点三者間通訳が、受話器のやりとりかスピーカーフォンで行われる。それに対して、外国人観光客の方と連絡を取りたいときには、コールセンターと3地点三者間通訳が行われる。その仕組みは、まずは奄美のホテルなどから「お客様が予定時間になっても到着しないので、連絡したい」「ご予約のお客様へ確認と御礼がしたい」「忘れ物の連絡をしたい」などとコールセンターに電話で依頼する。次に、コールセンターは外国人観光客に本人の得意な言語に訳して電話をかける。外国人はその言語で返事をする、コールセンターは日本語に訳して、依頼した奄美のホテルに伝えるのである。(鹿児島県多言語コールセンターパンフレット参照。)

話を日本語学校論に戻すと、その開設は大型クルーズ船の寄港や多言語通訳システムの導入と同じく、奄美のグローバル化と関係していることに気づくだろう。以上で奄美からの詳細な事例報告は終え、次章では法制としての日本語学校と留学生一般を論じる。

### 3. 法制としての日本語学校と留学生

#### 3.1 入管法における在留資格

ここで改めて入管法に戻ることにする。外国人は日本政府の許可がなければ日本に在留できない(浅川 2019)。在留にはその資格が一つ明示される。2019年3月現在、日本には28種類の在留資格がある。それらは活動に基づく在留資格(別表第一)と身分・地位に基づく在留資格(別表第二)である。別表第一には24の活動、つまり

##### ＜別表第一＞

外交、公用、教授、芸術、宗教、報道、高度専門職、経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、介護、興行、技能、技能実習、文化活動、短期滞在、留学、研修、家族滞在、特定活動

が含まれる。この別表第一の最後から四番目にある通り、「留学」は在留資格の一つである。他方、別表第二にある身分・地位に基づく在留資格には、「永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者」の4つが該当する。

なお、2019年4月1日施行の改正入管法によって、別表第一に特定技能(1号、2号)が加わった。1号の14業種には宿泊業(ホテル・旅館)・飲食料品製造業(弁当・惣菜製造)・外食業(レストラン・居酒屋など)も含まれるため、日本語学校生を含む留学生が従事するアルバイトと一部競合する<sup>16)</sup>。なお、スーパーやコンビニの業界団体が一致して政府に働きかければ、いずれ特定技能1号に販売業が加わる可能性がある。

16) 特定技能1号の場合には、日本語能力はN4以上で、個別の特定技能測定試験に合格しなければならない。例えば、外食業ならば、この業種に就くのに相応しい「相当程度の知識・経験」があるかどうか試験で測られる。



### 3.2 在留資格「留学」と「資格外活動」

#### 3.2.1 在留資格「留学」と「就労不可」

別表第一の場合には、それぞれの在留資格によって、認められた範囲の活動を行うことができるものである。「一在留，一在留資格の原則」があり、在留資格は一つしか持てない。日本語学校生の場合には、2010年6月末までは「就学」ビザで来日していたが、その7月以降大学院生・大学生や専門学校生と同じく「留学」ビザで在留することになった。

在留資格「留学」を得る場合には、入学許可証の写し、支弁能力を証する文書などを（新）地方出入国在留管理局（鹿児島県内に在留予定の場合には、福岡出入国管理在留管理局鹿児島出張所）に提出しなければならない（労働新聞社 2019：31）。

留学生が在留資格上認められているのは、「教育を受ける活動」である。日本語学校の場合、一般に一日3時間×5日＝週15時間の授業があつて、それに出席することが義務づけられている。だが、休学や卒業などによって定められた活動を3ヶ月以上しないと、在留資格取り消しの対象になる。在留カードの表面（次頁写真⑩）には、「在留資格 留学」ゆえに「就労不可」とであると明記されている。

#### 3.2.2 「資格外活動」としてのアルバイト

だが、在留カードの裏面下部（次頁写真⑪）には「資格外活動許可欄」があり、「許可：原則週28時間以内・風俗営業等の従事を除く」とある（出入国管理法令研究会編 2015：64）。

私見では、「就労不可」と「資格外活動」のアルバイトは互いに矛盾する。「資格外活動」は、「留学」という在留資格の例外として認められるべきものである。「留学」が主目的であり、一次的活動であるのに対して、「資格外活動」としてのアルバイトは副次的・二次的な活動であるはずである<sup>17)</sup>。

ところで、在留外国人統計及び厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況（2017年末）によれば、留学生全体に占める労働者の割合が、2008年には39.4%であったものが、2017年には83.3%を占めるに至った（望月 2019：136）。留学生には、専門学校生や大学生・大学院生も含まれるけれども、特に日本語学校生の割合が急増し、3割を超えている。というわけで、日本語学校生の多くは今や、後述するように、「日本語」学習を従、アルバイト（＝賃労働）を主とする日常生活を送っていると思われる。一体、法制上資格外活動をこのままにしておいて本当に良いのか、入管庁に問いたい。

### 3.3 「日本語学校」という教育機関

#### 3.3.1 法務省告示日本語教育機関

ところで、日本語学校とは、日本語の学習を主な目的として来日し滞在する外国人を対象

17) 「資格外活動」は、在留資格「家庭滞在」の場合にも許可されるが、許可される者の9割弱が「留学生」のアルバイトである。

## 在留カード（見本）

日本国政府 GOVERNMENT OF JAPAN		在留カード RESIDENCE CARD		番号 AB12345678CD No.
氏名 TURNER ELIZABETH NAME				
生年月日 DATE OF BIRTH	1985年12月31日 Y M D	性別 女 F SEX	国籍・地域 米国 NATIONALITY/REGION	
住居地 ADDRESS	東京都千代田区霞が関1丁目1番1号霞が関ハイツ202号			
在留資格 STATUS	留学 College Student			
就労制限の有無		就労不可		
在留期間（満了日） PERIOD OF STAY (DATE OF EXPIRATION)	4年3月（2018年10月20日） Y M D			
許可の種類	在留期間更新許可（東京入国管理局長） ◆MOJ◆			
許可年月日	2014年06月10日	交付年月日	2014年06月10日	
このカードは 2018年10月20日まで有効 です。 PERIOD OF VALIDITY OF THIS CARD				

見本・SAMPLE

法務大臣 法務省

## 表面

住居地記載欄		
届出年月日	住居地	記載者印
2014年12月1日	東京都港区港南5丁目5番30号	東京都港区長
資格外活動許可欄		在留期間更新等許可申請欄
許可：原則週28時間以内・風俗営業等の従事を除く		在留資格変更許可申請中

## 裏面

## ⑯在留カードの表と裏

に日本語教育を行う機関のうち、「留学」の在留資格を付与することができる機関のことであり、法務省が日本語教育機関として告示で定めている（田淵 2016）。だが、文科省が設置認可を出す高等教育機関（専門学校・短期大学・大学・大学院を含む）ではない。自治体の国際交流センターやNPO法人などが開講する日本語教室は、これに当たらない<sup>18)</sup>。

18) 日本語教室に関連して、日本語教育推進法第16条はつぎの施策を掲げている。「国は、地域における日本語教育の機会の拡充を図るため、日本語教室（専ら住民である外国人等に対して日本語教育を実施する事業をいう。以下この条において同じ。）の開始及び運営の支援、日本語教室における日本語教育に従事する者の養成及び使用される教材の開発等の支援、日本語教室を利用することが困難な者の日本語学習に係る環境の整備その他の必要な施策を講ずるものとする。」という。具体策と予算化はこれからである。

### 3.3.2 設置申請一審査と許可

日本語学校の設置申請に当たって、ハード面（財務力、校舎・設備など）では法務省、ソフト面（教員・教育課程・時間数・教材など）では文科省が審査して、法務省が許可する点で、文科省が監督する教育機関とは異なる。日本語教員の適格者については、日本語教育機関の告示基準に定められている<sup>19)</sup>。設置者数は学校法人が全体の約三分の一、会社法人（有限会社/株式会社）が約三分の二を占める。稀には、宗教法人の場合がある。会社法人の場合、私学助成はなく、学生割引も与えられず、地方自治体から感染症対策や災害予知連絡も受けられない（田淵編 2017：86）。なお、公立校は2019年4月現在、旭川に近い北海道東川町立東川町日本語学校と、鳥取市立の鳥取城北日本語学校の2校である。

### 3.3.3 就学生から留学生へ

すでに述べたことではあるが、入管法の上で日本語学校生は2010年半ばまで「就学ビザ」というカテゴリーで来日していた。同年7月、「就学」という在留資格が廃止され、専門学校生や大学生・大学院生と同様の「留学ビザ」に切り替わった。その時から、日本語学校生は「就学生」でなく、「留学生」として扱われるようになった。だが、文部科学省が設置認可を与える高等教育機関ではないため、日本語学校（2年課程）を修了しても学位（例えば、準学士）は与えられない。謂わば、進学・就労を目指す外国人予備校生である。

## 3.4 日本語学校の盛衰

### 3.4.1 バブルによる盛衰と東日本震災による減少

日本語学校は景気に影響され易い。その数は1980年代後半に急増したものの、1991年のバブル崩壊後減少した。「このころ設立した日本語学校がすぐ廃校になった。」（井上 2000：67）この点次頁の図1 日本語学校の盛衰参照。

2011年3月11日の東日本大震災直後、地震・津波と原発汚染を怖れた外国人留学生（特に漢字圏である台湾人や韓国人）の離日も記憶に新しい。（その穴を埋めたのが、東南アジアや南アジアからの留学生である。）それとは正反対に、アメリカ人日本文学者ドナルド・キーン（Donald Keene, 1922-2019）の東京への移住と日本帰化は、潔い決断であった。

19) 日本語の教員として適格な者とは、①大学又は大学院において日本語教育に関する教育課程を修了した者、②大学又は大学院において日本語教育に関する単位を26単位以上修得し、当該大学又は当該大学院の課程を修了した者、③学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者、④日本語教育能力検定試験に合格した者のいずれかである。2019年6月21日に成立した日本語教育推進法の第21条は、「国内における日本語教師の資格に関する仕組みの整備、日本語教師の養成に必要な高度かつ専門的な知識及び技能を有する者の養成その他必要な施策を講ずるものとする。」としているので、今後「公認日本語教師」に向けた日本語教師の国家資格化が進むだろう。

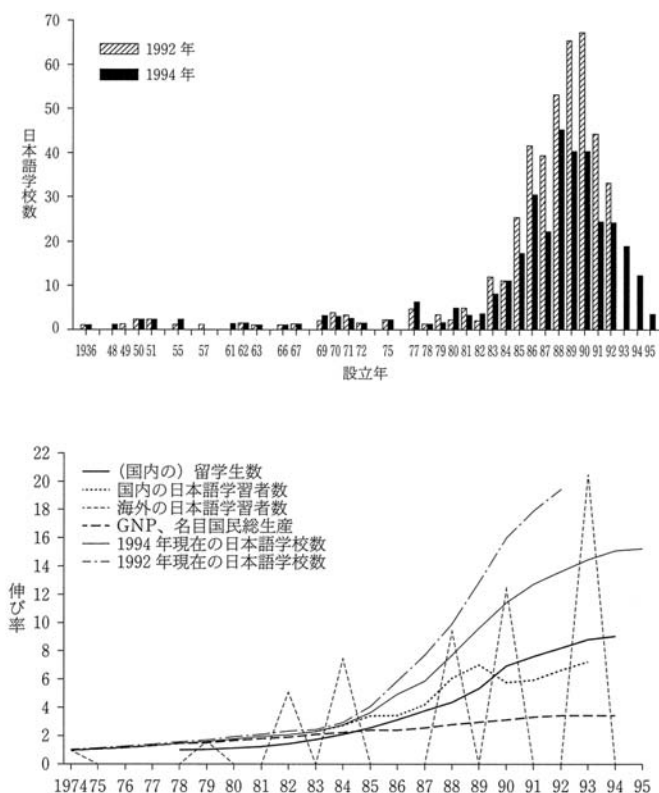


図1 (井上 2000: 65の図17) 日本語学校の盛衰

### 3.4.2 急増する日本語学校と留学生

しかしながら、2013年頃から来日する留学生の数も再び増え始め、2019年になるともはや好景気とは言えぬものの、日本語学校は急増の一途である（田尻 2017, 日本学生支援機構 2019）。2017年4月現在606校、2019年9月にはほぼ800校を数えるに至った。私立大学数604よりもはるかに多い。というのも、第一に日本語学校設置基準がやや緩く、人材派遣会社・不動産会社・食品製造会社・介護事業管理会社など様々な事業体が参入し得たから、第二に「出稼ぎ留学生」と人手が不足する地域社会双方のニーズが合致したからである。人手不足という点では、2018年に18歳人口が減少に転じ、2025年に団塊の世代がすべて後期高齢者（75歳以上）になることと、時機を一にしている。若年人口の減少と団塊世代の高齢化が進む今、留学生は様々である。

2008年福田康夫内閣提唱の「留学生30万人計画」は、目標の2020年を待たずに、「学びながら働ける国」に東南アジア（ベトナムなど）・南アジア（特にネパール）出身の日本語学校生の増加によって達成された。この事実を辛口に評すれば、「留学生30万人計画」の早期実現を図って、日本語学校の「就学生」を「留学生」に格上げしたと言えるだろう。

筆者の地元・岡山にある法務省告示日本語教育機関・岡山外語学院（学校法人・アジアの



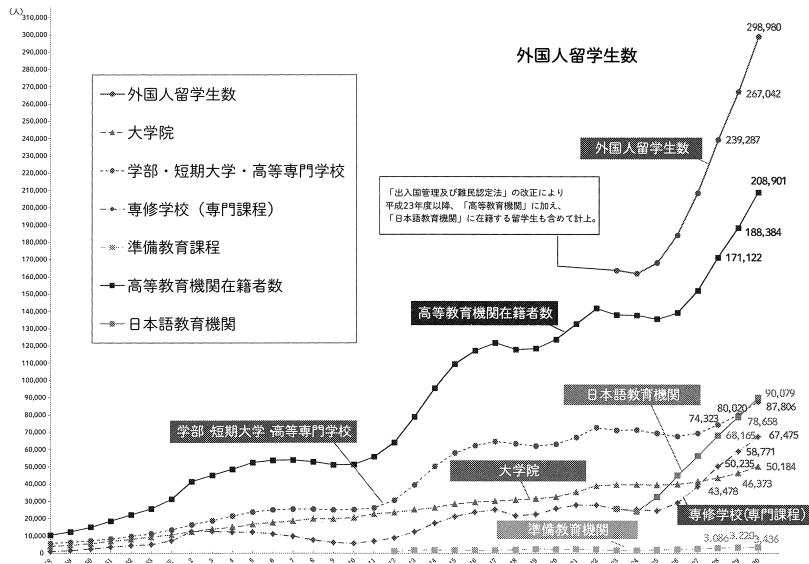


図2 外国人留学生数の推移（日本学生支援機構，2019）（牝川編 2019：21に掲載）

風 片山浩子理事長，山中孝志校長）の場合，1992年10月に日本語科の運営を開始した。「開校以来中国からの留学生が圧倒的に多かったが，2013年頃よりベトナム，2016年からはインドネシア，スリランカ，カンボジアなど東南アジアからの留学生が増加傾向にある」（岡山外語学院2019年度学校案内）という。2019年4月の時点で在籍者は，20カ国から約400名。当外語学院の事例は，「日本語学校生（特にベトナム出身者）の急増」という最近の全国的傾向と明らかに一致する。なお，当学院は一般財団法人日本語教育振興協会加盟校である。

### 3.5 「資格外活動」としてのアルバイト

#### 3.5.1 資格外活動が4分の1

ここで提示したいのは，表4 外国人雇用状況の申告数（2018年10月，在留資格別）である。

表4 外国人雇用状況の申告者数，2018年10月，在留資格別，平成30年10月末現在の外国人雇用状況報告の集計結果（[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_03337.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03337.html)）

在留資格	人数	構成比(%)	備考
資格外活動	343,791	23.5	主に留学生と家族滞在の資格の者  永住者，定住者，日本人の配偶者など
技能実習生	308,489	21.1	
専門的・技術的分野の在留資格	276,770	19.0	
身分に基づく在留資格	495,668	33.9	
その他	35,615	2.4	
合計	1,278,670	100.0	



この表4によれば、「身分に基づく在留資格」が約33.9%の第1位、「資格外活動」が23.5%で4分の1近くを占めて、堂々の第2位である<sup>20)</sup>。筆者は「就労不可」である者が合法的に資格外の就労ができるということは、二律背反による詭弁ではないかと考えている。

### 3.5.2 サイトドアからの外国人受け入れ政策

留学生のアルバイトは、日本の企業（特に小売業・外食業など）にとって必要不可欠になり、産業構造の中に組み込まれた（志甫 2018）<sup>21)</sup>。

有田佳代子は牲川編（2019：25）の中で、「日本側の人手不足という誘因と同時に、送り出し国の貧困や失業率の高さなどのプッシュ要因、そこにからみついてくる留学ビジネスや人材派遣ビジネスなどの存在があります」と指摘している。「その結果、日本語習得の意思がない「留学生」、また、勉強の意思はあっても毎日の長時間労働によって疲労困憊して勉強に集中できない学生が、日本語教室にいることになります。」そこには、猛烈に勉強して難関大学や大学院への進学を目指す留学生も混じっているのである。

本稿冒頭に引用したように、作家・村田沙耶香は小説『コンビニ人間』の中で、コンビニで働くトゥアン君について巧みに描写しているが、今や留学生はコンビニ業界に必要不可欠な存在である。芹澤（2018）も淡々と「コンビニ外国人」の生態を報告している。求人募集をしても集まり難い早朝勤務（午前4時から8時まで）や週末の徹夜勤務を引き受けてくれるのが、留学生アルバイトである。伝聞ではあるが、週49時間または週56時間以上働き詰める留学生もいるらしい。例えば、昼食後に回転寿司店か牛丼店で働いて、夕方からコンビニか居酒屋でアルバイトをするという掛け持ち賃労働である。平日の夕方6時から深夜2時まで宅配仕分けをする留学生もいるようだ。そこまですないと、次年度の学費を払えない、生活費が足りない、借金の返済が滞るという。中には、家族へ送金をする者もいるという。法令時間超過のアルバイトは、今後入管庁による日本語学校への監督が厳しくなれば、多分不可能になるだろうが…。

### 3.5.3 アルバイト20時間から28時間へ

既述のように、入管法による資格外活動許可によって、2010年6月末まで在留資格「就学」の場合、アルバイトは週20時間であった。日本語学校生はその後「留学」ビザに切り替わり、学期内には4時間×7日＝週28時間までのアルバイトが許された。いずれにせよ学習時間よりもアルバイト時間の方が長いのである。さらに、授業のない長期休業期間には1日8時間

20) 資格外活動許可については、入管法第19条第2項が法令上の根拠。佐野・佐野（2019：54～57）参照。

21) 技能実習生の実習先は、食品製造、機械・金属、建設、農業、繊維・衣服を含む第一次・第二次産業の事業所であり、留学生のアルバイト先との間で棲み分けがなされている。技能実習生にせよ、留学生（日本語学校生を含む）にせよ、サイドドアからの外国人受け入れ政策である。なお、フロントドアからは「専門・技術」分野の外国人が、バックドアからは非正規滞在者が在留している。

×5日＝週40時間までのアルバイトが認められる。日本語学校生の賃金労働者化である。望月（2019：137）が指摘するように、「留学生を『学生』としてよりも、『事実上の労働者』として受け入れる傾向が近年顕著になってきている」のである。というのも、留学生が従事できる職種は特に問われないため、雇用者としては使い勝手がいいのである。すでに紹介した販売業・外食業・宿泊業の他に、配送小荷物仕分け作業、総菜製造、ビル清掃、ゴミ収集車の作業等にも、留学生アルバイトが駆出されている<sup>22)</sup>。特に、深夜や早朝のシフトや週末の徹夜勤務（労賃単価は高いが、働き手が少ない時間帯の賃労働）には、労を厭わない留学生アルバイトが欠かせないのである。

#### 3.5.4 バイトに追いまくられる留学生

実際のところ、バイトに追いまくられる留学生の実態もしばしば報告されている。例えば、「日本語学校はめちゃくちゃ」という下記のデジタル投稿記事（朝日新聞，2019年2月10日付）を読んでみよ。

いまは大学生だが、日本語学校は本当にめちゃくちゃです。憧れと夢を持って日本に来た語学学校生にはどんな生活が待っているのでしょうか。不合理な値段と契約で提供される寮、進学準備の不協力さ、授業の残念さ。日本に来る前にはきれいな言葉ばかり並べるが、来たら現実とは全然違う。結局来年度の学費に迫られ、バイトしか考える暇がなく、入試対策どころか、語学勉強の時間もありません。（東京都・20代男性 中国）

このような「学び」よりも「アルバイト」に比重がかけられている現状から判断するに、入管法の「留学」と称する在留資格は意味上矛盾に満ちている。特に在留資格「留学」に付随する「資格外活動」に関しては、教育法制・教育政策というよりも、人手不足解消のための産業法制・産業政策の現われではないかと疑われる。

#### 3.5.5 出稼ぎ留学生の実態

働きながら学ぶことを目的とした「出稼ぎ留学生」の実態は、2016年末から2017年初めにかけて連載された記事をもとに刊行された西日本新聞編（2017）など、様々なメディアで報じられている。NHK クローズアップ現代プラス「外国人留学生に何が―追跡！留学生ビジネス利益優先・ずさん管理」（2019年6月27日）やNHK スペシャル「夢をつかみにきたけれど―ドルボ・外国人労働者150万人時代」（2019年7月13日）も優れたドキュメンタリーであった。まことにもって、本末転倒・主従逆転の現状である。

22) 但し、風俗営業である、キャバレー・ナイトクラブ・パチンコ屋・麻雀屋などでのアルバイトを除く。

#### 4. 結論—入管法への問題提起と筆者による提言

最後に、入管法に基づく留学生政策に対して、現状における問題点と提言を述べたい。

##### 4.1 二律背反という問題

在留資格「留学」の場合、在留カード（写真⑩）にある通り、「就労不可」である。ところが、「資格外活動」としてのアルバイトはOK<sup>23)</sup>。学業優先であるはずなのに、なぜ学期中に週5日15時間（45分授業×4時間単位×5日）の学習時間よりもはるかに長い週28時間のアルバイトを許可するのか。なぜ授業のない長期休業期間には週40時間（8時間×5日）のアルバイトを認めるのか。予習復習の時間は一切考慮しないのか。留学に来た若者をいとも容易く労働市場に譲り渡してよいものか。このような在留制度は明らかに矛盾し、二律背反である。留学生の学業（＝修業）である日本語学習を軽視して、アルバイト（＝賃労働）を重視する点では、一種の二重基準でもある。

こうしてみると、「出稼ぎ留学」の元凶は「資格外活動」にあるのではないか。要するに、日本語学校生の多くは、留学生というよりも外国人労働者の性格が濃いのである<sup>24)</sup>。

##### 4.2 解決策—アルバイト時間の短縮化か「日本語」学習の長時間化

①日本語学校における一日3時間（一日45分授業×4単位時間）、週15時間の「日本語」学習が在留資格「留学」という本業の前提であるならば当然、アルバイトは副業であるので、学習よりも短い週15時間未満に制限するべきである。

②あるいは、週28時間以上の「日本語」学習があつてこそ、週28時間のアルバイトが許可されるのではないか。実際はしばしばその正反対であり、あたかも在留資格「アルバイト」（虚構）に「資格外活動」として留学が付随するような実態も認められる。「一在留、一在留資格」の原則があるため、「留学兼就労」という在留資格はあり得ない。

##### 4.3 「資格外活動」としてのアルバイトと新設「特定技能1号」

在留資格「特定技能1号」の新設により、宿泊業、飲食料品製造業、外食業においては、留学生のアルバイトとの差別化が問題化するだろう。単純労働と「相当程度の知識・経験」という差はあるものの、職種によっては競合する。今後は改正入管法施行上での齟齬が起き

23) 1960年代には留学生のアルバイトを禁じていたが、時代が下ってそれを許可するようになり、時間数も増えていった。「資格外活動」としてのアルバイトには、在留資格「家庭滞在」の場合にも認められるが、9割弱を占めるのは留学生のアルバイトである。

24) もっとも、中国人富裕層の留学生はアルバイトをせず、大学予備校（名校志向塾・行知学園など）にも通って難関大学を目指す（芦澤 2018：127）。ダブル・スクーリングが可能な留学生は、主に東京にあって金銭的に不自由しない層である。日本語学校によっては、通常の日本語課程に加えて「日本留学」（EJU）対策講座（つまり、大学進学対策講座）や文化庁国語課届出の日本語教師養成講座（420単位時間）をも提供する。

ぬよう、また日本語学校生（留学生）の不法就労防止のために、雇用上の明確な棲み分けが行われるべきである<sup>25)</sup>。

#### 4.4 告示校である日本語学校の監督官庁の明確化

日本語学校は、設置時に法務省（旧入国管理局）が許可しながら、開設後には再審査はせず、これといった監督をしてこなかった。そこで、2019年4月1日に本省から独立した出入国管理在留庁（略して入管庁）が、今後日本語学校を監督するという。授業への出席率（80%以上）、日本語能力試験（JLPT）合格率（N1～N4、個別の日本語学校の教育目標次第）の実績などによる学校評価によって、教育的質の向上を図る<sup>26)</sup>。日本語学校の適正化を図り、アルバイトに過度に依存しない留学生生活が要請されるからである。

#### 4.5 日本語教育推進法における日本語学校

日本語学校に関して、日本語教育推進法の附則第2条（検討）には、「国は、次に掲げる事項その他日本語教育を行う機関にあって日本語教育の推進の維持向上を図るために必要な適格性を有するもの（以下この条において「日本語教育機関」という。）に関する制度の整備について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。」とある。「次に掲げる事項」とは、以下の4項である。

- 一 日本語教育を行う機関のうち当該制度の対象となる機関の類型及びその範囲
- 二 外国人留学生の在留資格に基づく活動状況の把握に対する協力に係る日本語教育機関の責務の在り方
- 三 日本語教育機関における日本語教育の水準の維持向上のための評価制度等の在り方
- 四 日本語教育機関における日本語教育に対する支援の適否及びその在り方

一は日本語学校の類型化であろう。会社法人／学校法人の別。私立か公立かの別。外部評価による認証を受けるか否かの別。その他に、主に大学進学を目的とする学校と主に専門学校進学を狙う学校、主に就労を優先する学校に区別し得る。それぞれ目的別にカリキュラムや指導法も異なるだろう。カケハシインターナショナルスクール奄美校の場合、専門学校進学を主な目標としている。岡山外語学院の場合は、大学進学を主な目標としている。公立の

25) 単純労働は認めないとする外国人政策の中にあって、実際はサイドドアから入ってきた①日系人とその家族、②技能実習生、③留学生（日本語学校生を含む）が単純労働に従事してきた。バックドアから入ってきた④超過滞在者、⑤難民も単純労働に就き得る。

26) 入国管理在留庁は2019年8月1日外国人留学生を受け入れる日本語学校の設置基準を改正し、9月1日から適用する。留学生の教育向上と在籍管理を強化するのが狙いである。日本語教育機関の告示基準によれば、退学者または1ヵ月の出席率が5割を下回る留学生がいるときには、地方出入国在留管理局にその留学生について報告することを義務づけるとしている。また、日本語学校の修了者の7割以上が、①大学・短大などへの進学、②在留資格「特定技能」などへの変更、③一定レベル以上の日本語能力試験の合格—いずれかを満たすことを求める。3年連続で7割を下回ると留学生の受け入れができなくなる。以上は、読売新聞2019年8月2日付「留学生の在籍管理強化 日本語学校出席率『半年で7割』に」による。

鳥取城北日本語学校は、大学卒を受け入れる1年課程で、就労を主な目的とする。

二は主に在留活動の問題であり、日本語学校の責務として入管庁から協力が要請されるだろう。本稿の主な議論は、在留資格「留学」と「資格外活動」としてのアルバイトであり、主従逆転ではないかという疑問を呈した。今後は在留の監督がより厳しくなるだろう。

三の評価制度は、経営と教育の双方にわたる。経営上は財務状況や人事管理が評価される一方で、教育上は教員対学生の比率、学生の出席率、目標とする日本語能力試験（JLPT）N1～N4（またはヨーロッパ共通言語参照枠（CEFR）に基づく新テストA2以上）の合格率などが問われることだろう。

四の「支援の適否」は、日本語学校に外部評価制度を導入した上で、優れた日本語学校への助成や留学生奨学金制度（または学費減免制度）への支援が行われるのではないか。

しかしながら、具体策と予算化は法案提出段階では白紙のままであり、日本語教育の大枠を示す法律が成立したばかりである。本法改正の折には、上記の附則を検討した上で、その結果を本則に組み込み、日本語学校推進の具体的な方向付けをしなければなるまい。

#### 4.6 日本語学校生は留学生か外国人労働者か

最後に、冒頭の**問題提起**の中で提出した「急増する日本語学校生は留学生か外国人労働者か」という問いに立ち返るとしよう。日本語学校生の多くは、食事と睡眠を含む私生活は別として、一般に日本語学校で学ぶ時間は週の約三分の一、地域社会でのアルバイトに費やす時間はその二倍の約三分の二であると思われる。私見では、日本語学校生は在留資格の上では「留学生」であり、「就労不可」であるにもかかわらず、実態は外国人労働者の性格が濃いのである。このような歪んだ留学生生活を可能にしてきたのが、入管法が許可する「資格外活動」である。「日本語学校生は留学生だ」としておきながら、安い時間給労働力として雇ってもよいものか。在留資格「特定技能1号、2号」が導入された以上、「資格外活動」という法制度は再考の余地ありではないか。「資格外活動」は、悪名高き「技能実習制度」（巢内2019）同様、問題が多いということを重々認識すべきである。

#### 4.7 最後にひとこと

顧みるに筆者の「移民に対する言語教育」への関心は、橋内（1979）まで遡る。「日本語学校問題は単なる教育問題ではなくて、一種の『出稼ぎ』問題、『移民』問題として考察すべきですね」という橋内の主張に同意して、岡本能里子（2019年4月29日の私信）は、「日本語教育は英語教育や国語教育と違い、国際関係、移民政策、政治、経済、法律問題、異文化理解、文化人類学…など学問的にも多岐に渡っており、省庁も複数関わるので、それを繋ぐ人材が必要です」と答えている。

小論の前半では奄美の日本語学校と留学生の現状を多角的に記述し、後半では日本語学校と留学生を主に法律問題として取り上げた。こうしてみると、改めて日本語教育の多面性を



認識せざるを得ない。人口が減少する離島に日本語学校が開設されるということには、地域振興策として意義がある。だが、それは同時に改正入管法、日本語教育機関の告示基準、日本語教育推進法といった根拠法令を踏まえながら、日本語学校の現状を再考し、その未来像を描く知的営為である。日本語学校は日本語教育以上の問題を抱えているのだ。

## 付 記

本稿は以下の学会・研究会での報告・発表をもとに、書き下ろしたものである。

- 1) 「離島×日本語学校生というグローバル化」, シンポジウム「新旧入管法の改正と『移民問題』について」, 法と言語学会2019年第1回研究会, 2019年4月21日, 桃山学院大学梅田サテライト
- 2) 「在留資格『留学』と『資格外活動』としてのアルバイト」—日本語学校生は留学生か外国人労働者か, 法と言語研究会日韓合同セミナー, 2019年6月1日, 韓国・梨花女子大学
- 3) 「『学びと労働』の狭間で—日本語学校急増の背景」, 日本言語政策学会第21回大会ポスターセッション, 2019年6月9日, 関西学院大学西宮キャンパス

なお、本稿に挿入した写真は、すべて筆者（橋内）が2018年12月から2019年8月にかけて奄美大島の現地で撮影したものである。かつて調査・論述したアウトター・ヘブリディーズ、マルタ、五島列島など、懐かしき島嶼への想いと共振するものがある。

・吾ぬやこの島に親はるじ居らぬ わぬ愛さしゅん人ど吾親はるじ（奄美叙情歌）「私はこの故郷に親類縁者は居りません。私を愛して下さいの方が私の親類縁者です。」の意。

## 謝 辞

本稿を執筆するに当たり、参考文献に挙げた書物や論文・記事を参照させていただいた。まずは、これらの著者・筆者に謝意を表わしたい。最近の日本語教育政策については、学会・研究会の折に白山利信（以下、五十音順、敬称略）、岡本能里子、里見隆治、宮崎里司からご教示を得ることができた。沖縄県の石垣島にも日本語学校設置の動きがあるという情報は、山川和彦から知り得たものである。

ついで、訪問した奄美市名瀬のカケハシインターナショナルスクール奄美校では、浜崎幸生理事長以下、教職員の皆さんにお目にかかり、面談によって実状を知り得たことを感謝したい。留学生諸君には、入学式・授業中には学校で、仕事中にはアルバイト先で接することができた。執筆中、彼等の微笑みが脳裏を離れなかった。星野良太事務主任と山崎会理教務主任には、推敲の段階で原稿の一部に目通しをしていただいた。しかしながら、本稿にあり得る誤りは、すべて筆者に帰すべきものである。

奄美文化センター、奄美野生生物保護センター、鹿児島県立奄美図書館、奄美市商工部袖観光課では、貴重な資料を閲覧したり、提供したりしていただいた。奄美市を含む奄美大島各地を訪ねるに当たっては、川上順一と中島章功・守香の一家が時間を割いて案内してくださった。ささやかながら、小論をもって1960年代の学生時代—あの「緑ヶ岡クワイア」の公演（名瀬と笠利町宇宿）・教育実習（笠利町立笠利中学校）・卒業論文のための笠利方言調査・名瀬市地理調査以来お世話になり続けた、敬愛するシマヌチュへの恩返しとしたい。「アリガティサマアリョウタ。」

## 参 考 文 献

- 浅川晃広（2019）. 知っておきたい入管法—増える外国人と共生できるか 平凡社  
 朝日新聞（2018.11.25）. 奄美にもできた日本語学校 朝日新聞（GROBE）  
 朝日新聞（2019.2.10）. 日本語学校はめっちゃくちゃ 朝日新聞  
 朝日新聞（2019.6.12）. 大学の在籍管理不適切なら留学生の在留資格停止 朝日新聞  
 奄美新聞（2019.4.27）. 留学生就労支援し活性化—海外交流人材育成協が発足 奄美新聞  
 奄美新聞（2019.7.31）. 第56回奄美まつり 奄美新聞

- 泉 和子 (2015). 奄美の伝統料理 南方新社
- 井上史雄 (2000). 日本語の値段 大修館書店
- 井上史雄 (2008). 社会方言学論考—新方言の基盤 明治書院
- 岡村隆博 (2007). 奄美方言 南方新社
- 岡山外語学院 (2019). 岡山外語学院2019年度学校案内 岡山外語学院
- 文 潮光 (1933). 奄美民謡大観 南島文化研究社
- 是川 夕 (2019). 教育達成を通じた移住過程としての日本語学校, 是川 夕編 人口問題と移民 (153-178) 明石書店
- 佐野秀雄・佐野誠 (2019). よくわかる入管手続—基礎知識・申請実務と相談事例 日本加除出版
- 山陽新聞 (2019.6.22). 外国人の日本語教育支援 推進法成立 国, 自治体責務に 山陽新聞
- 志甫 啓 (2018). 外食産業とコンビニ業界における外国人労働者—外国人留学生のアルバイトに注目して, 津崎克彦編 産業構造の変化と外国人労働者—労働現場の実態と歴史的視点 (104-127) 明石書店
- しーま (2019). みしょらんガイド 株式会社しーま
- 巢内尚子 (2019). 奴隷労働—ベトナム技能実習生の実態 花伝社
- スリーエーネットワーク (2012). みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク (2013). みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 スリーエーネットワーク
- 出入国管理法令研究会編 (2013). 外国人のための入国・在留手続の手引 (第5版) 日本加除出版
- 鈴木洋子 (2011). 日本における外国人留学生と留学生教育 春風社
- 牲川波都季 (2019). 日本語教育はどこへ向かうのか—移民時代の政策を動かすために くろしお出版
- 成美堂出版編集部 (2019). 2019年版日本地図 成美堂出版
- 芹澤健介 (2018a). コンビニ外国人 新潮社
- 芹澤健介 (2018b). 「コンビニ外国人」は何しに日本へ 文藝春秋11月号 (126~135)
- 田淵英三編 (2017). 外国人労働者受け入れと日本語教育 ひつじ書房
- 地球の歩き方編集室 (2018). 奄美大島・喜界島・加計呂麻島 ダイアモンド・ビッグ社
- 内藤正典 (2019). 外国人労働者・移民・難民ってだれのこと 集英社
- 名瀬市立奄美博物館 (1990). 奄美博物館 展示図録 名瀬市立奄美博物館
- 南海日日新聞 (2019.3.11). 奄美の「架け橋」巣立つ, 日本語学校卒業式, 4ヵ国15人, 奄美市名瀬 南海日日新聞
- 南海日日新聞 (2019.8.3). 「交流は楽しかった」外国人学生ら地元住民と 奄美市名瀬 南海日日新聞
- 西日本新聞社編 (2017). 新移民時代—外国人労働者と共に生きる社会へ 明石書店
- 橋内 武 (1979). 移民に対する言語教育—多民族国家英国の課題 ノートルダム清心大学紀要 (外国語・外国文学編) 第2巻第1号 (101-114) ノートルダム清心女子大学
- 浜田敬助 (2009). 奄美方言入門—奄美の各市町村別方言集 南方新社
- 古田元夫 (2017). ベトナムの基礎知識 めこん
- 松田真希子 (2016). ベトナム語母語話者のための日本語教育 春風社
- 宮崎 喬 (2019). 外国人労働者のフロントドアからの受け入れを, 別冊環24 開かれた移民社会へ (54-64) 藤原書店
- 村田沙耶香 (2016). コンビニ人間 文藝春秋
- 望月優大 (2019). ふたつの日本—「移民国家」の建前と現実 講談社
- 山越康裕 (2012). 詳しくわかるモンゴル語文法 白水社
- 読売新聞 (2019.8.2). 留学生の管理強化 日本語学校出席率「半年で7割」に 読売新聞
- 労働新聞社編 (2019). まる分かり2019年施行入管法—特定技能資格の創設 労働新聞社

## パンフレット・リーフレット

奄美旧暦行事カレンダー（2019年度版）奄美市立奄美博物館

鹿児島県多言語コールセンターリーフレット

田中一村記念美術館パンフレット

## 根拠法令

改正出入国管理・難民認定法（略称，改正入管法）（2019年4月1日施行）

日本語教育推進法（2019年6月21日成立）

日本語教育機関の告示基準（法務省）

日本語教育機関の告示基準解釈指針（法務省）

（2019年7月3日受理）

## In Between Learning Japanese and Manual Work: Overseas Japanese Language Students in Amami

HASHIUCHI Takeshi

This paper consists of four chapters: I. Introduction, II. Case Study: Kakehashi International School Amami Campus, III. Japanese Language Schools in General, and IV. Conclusion.

Why have Japanese language schools increased so rapidly in recent years? Why have new Japanese language schools been founded even on isolated islands? These are the two questions posed by the current author. Actually the number of Japanese language schools throughout Japan now reaches 800, which is, surprisingly, much more than the number of private universities in this country. You can now find JSL schools in the Amami Islands of Kagoshima and on Sado Island, Niigata, and start-ups are planned in the Goto Islands, Nagasaki and even Ishigaki Island, in Okinawa Prefecture. Most local business communities now face a shortage of labor so some seek even part-time workers from abroad: they thought that establishing language schools might bring in young international workers. As a result, the number of Japanese language schools has actually doubled within the last four years.

With the support of Kakehashi Sky Solutions Company, Mr. Ikuo Hamasaki founded a Japanese language school for overseas students in Naze, Amami Islands, Kagoshima in October, 2015. Named Kakehashi International School Amami Campus, it accommodates over thirty students from Asian countries including Vietnam and Nepal. Four lecturers teach them Japanese, with great enthusiasm. Students attend classes for three hours per day, five days a week, while working for convenience stores, restaurants or hotels for 28 hours a week. At the same time, they enjoy local events and customs and intercultural activities so as to socialize and acculturate in the Amami community. Most of them aim to enter occupational schools to major in their interests such as the automobile industry, business, ICT and hospitality, after finishing two years of study at this school.

However, many less privileged students from Asian countries often tend to work illegally for more than twenty-eight hours a week, neglecting their language study so as to earn more income. Some of them indeed owe large sums of money to brokers in their own country that they must repay while residing in Japan for two years. This tendency poses an uneasy question, as to whether they are really language students or foreign workers. While the number of Japanese language schools has increased rapidly in the last several years, some of them have unfortunately

become agents providing a part-time work force to the local business community, rather than offering quality language programs.

The new Agency for Immigration and Residence was founded in April, 2019, and as a result, their legal control over Japanese language schools will probably become harsher and more severe. A new scheme allowing five-year appointments for overseas workers has also been introduced. At the same time, a new law to promote Japanese language study by non-Japanese has been recently implemented so the government might soon support as well as control these language schools and the overseas language students.

We will be able to see the outcome of the new government policy within the next five years: it might result in beneficial solutions both for language schools and for overseas students.